

市政のそばに聞きたか!!

一般質問

6月定例会で13人が古川市政を

問う!



掲載している内容は、6月26日から7月1日に行われた市政一般質問の要旨です。詳しい内容については会議録をご覧ください。

会議録は、議会事務局、情報公開室のほか市内各公民館や図書館でもご覧いただけます。

市議会ホームページでは、会議録の閲覧や検索、議会中継（生放送・録画放送）を見ることができます。

島原市議会ホームページ <http://www.city.shimabara.lg.jp/gikai/>

▼選挙と投票率について



実践クラブ

北浦 守金
議員

Q 最近の選挙は投票率が下がっているが、市長はどのように受け止めているのか。

A 個々のライフスタイルが多様化する中で、若者の政治離れを危惧している。今回、公職選挙法が改正されたことにより、選挙権の年齢が十八歳以上へと引き下げられた。若い世代の意見が政治に反映され、今後、若い世代の方が政治に参加し、投票率が向上することを期待している。

Q 投票率を向上させる取り組みは行っているのか。

A 選挙制度や仕組みを知る機会を設けるための出前講座の実施や、若者が政治に関心を持てるような啓発活動を粘り強く行うように考えている。また、よりよい投票環境を整えるため、投票所の区割りの見直し、投票所の位置の検討、バリアフリー化などの環境改善に努めたい。

Q 高校生に模擬投票を経験させるようなことは計画しているのか。
A これまで、中学、高校については、

生徒会の役員選挙に投票箱、記載台等の貸し出しを行ったり、高校三年生を対象に出前講座を実施している。今後、実際の投票と近い模擬投票を経験すれば、投票しやすくなると思うので、力を入れていきたい。

Q 期日前投票所をふやすことはできないのか。

A 現在は本庁と有明支所で実施しているが、研究してみたい。

Q 選挙権の年齢が十八歳以上になるが、そのメリット、デメリットはどのように考えているのか。

A メリットとしては、政治に参加する機会が設けられたことにより、若者が政治に関心を持つようになること、若者を対象とした公約がふえることが考えられる。デメリットとしては、芸能人などの有名人が立候補した場合に、政治とは関係なく人気投票となってしまうことが懸念される。また、十八歳でも重大な選挙違反については、成人同様に罰せられることになっており、今後、選挙制度の周知徹底を図っていく必要があると考えている。

Q 選挙費用の推移はどうか。

A 投票事務に従事する職員を市職員から非常勤職員にかえたり、開票事務の効率化による時間短縮をすることによって経費削減に努めている。